

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政 策	1	第1次産業の振興
施 策	①	水産業の振興

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	雑海藻駆除面積(重機、SKフープ)【単年】		目標値	ha					3.5	3.5
				実績値	ha	3	2.7			0	
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	85.7	77.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	2.5 3.5 3.5		評 価		b	b					
	2	マツカワ種苗放流数【単年】		目標値	匹					50,000	50,000
				実績値	匹	49,284	47,650			0	
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	98.6	95.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
50,000 50,000 50,000		評 価		b	c						
成果 指標	1	コンブ生産量【単年】		目標値	トン					100	100
				実績値	トン	110	85			0	
	現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	110.0	85.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	86 100 100		評 価		a	c					
	2	ウニ生産量【単年】		目標値	トン					20	20
				実績値	トン	13	0			0	
	現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	65.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
19 20 20		評 価		c	d						
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1		重機:0.6ha SKフープ:2.4ha		重機:0.6ha SKフープ:2.1ha							
活－2											
成－1											
成－2											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>					
主な事業・取組	1. 食育及び水産業への理解を高める取組を行う				R4(2022)年度実績額 0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度 実施内容	各部会より提供された水産物を使用して、計4回のふるさと給食を行った。 十勝管内漁業士会により、秋さけ定置網漁の説明や、秋さけの解体実演など食育事業を行った。				
進捗状況と課題	コロナ禍により、子ども達の前に出向く機会が減っているが、ふるさと給食などを通じて水産業への関心を高めていきたい。【水産係】				

主な事業・取組	2. 漁業資源を確保するための新たな技術の導入を検討する			R4(2022)年度実績額	3,435千円
細事業名Ⅰ	ウニ養殖企業化実証試験事業	実	1-1-①-1	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	令和3年度に北海道地域づくり総合総合交付金を活用し、十勝港湾湾区域内に整備したウニ養殖施設、ウニの餌となるコンブ養殖施設、施設維持管理用の作業船を用いてウニ養殖企業化試験を実施した。				
進捗状況と課題	令和3年度発生 of 赤潮により、令和4年度からリスタートしているため、出荷サイズになる令和7年度までの3か年で養殖試験を実施していく必要がある。【水産係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. ウニ増殖をはじめとした資源管理型漁業を推進する			R4(2022)年度実績額	25,109千円
細事業名Ⅰ	浅海域試験効果調査事業	実	1-1-①-2	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	ウニ増殖対策事業	実	1-1-①-3	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅲ	さけます増殖事業	実	1-1-①-4	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅳ	沿岸有望魚種増殖開発事業	実	1-1-①-5	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅴ	ホッキ稚貝移植放流事業	実	1-1-①-6	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅵ	魚類飼育施設運営事業	実	1-1-①-7	担当課	水産商工観光課
R4(2022)年度実施内容	ウニの種苗生産・中間育成・放流や、さけますふ化放流事業など、水産資源維持・増大に向けた取り組みを実施した。				
進捗状況と課題	資源維持・増大のため、継続していく必要がある。【水産係】				

主な事業・取組	2. コンブ増産のため、コンブ生育の障害となる雑海藻の駆除を継続的に実施する			R4(2022)年度実績額	6,080千円
細事業名Ⅰ	雑海藻駆除事業	実	1-1-①-8	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	コンブ漁場増殖事業	実	1-1-①-9	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	漁協へ補助金を支出し、SKフープによる雑海藻駆除を実施した。また、水産多面的機能発揮対策事業を活用し、活動組織によるコンブ漁場の岩盤清掃を実施した。				
進捗状況と課題	優良なコンブ漁場を維持していくため、継続的な雑海藻の駆除が必要。【水産係】				

主な事業・取組	3. 水産物の付加価値向上のため、市場施設の整備などに取り組む			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	施設整備に向けて、漁協と協議し、検討していきたい。【水産係】				

主な事業・取組	4. 漁村の価値を再認識し、都市部の住民や次代を担う子どもたちにその魅力を伝えるため、子ども農山漁村ホームステイ事業を実施する			R4(2022)年度実績額	440千円
細事業名Ⅰ	子ども農山漁村ホームステイ事業	実	5-2-②-15	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	新型コロナウイルス感染拡大により、受入事業は3年連続の中止となった。				
進捗状況と課題	新型コロナウイルスの影響により受入家庭の意向も確認し、子どもの受入は3年連続の事業中止となったが、オンラインを活用しての交流授業やハロウィンかぼちゃの送付などの交流事業を実施した。令和5年度は受入家庭の意向調査も行った上で事業の再開を決定し、8月に受入を行う予定。【企画防災係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
水 企	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・増養殖事業など、近年の水揚げ低迷への対策となる取組を順調に実施することができた。（水産商工観光課長） ・農山漁村ホームステイ事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で休止していたが、令和5年度から取組を再開する。（企画課長）		
	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
水 企	A 有効であった	評価理由	・増養殖事業を継続的に実施することで、水産資源の維持増大に有効な成果をあげることができた。（水産商工観光課長） ・農山漁村ホームステイ事業は、給食用食材提供事業以外は休止中のため有効とはいえない。（企画課長）		
	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

水 産 業 の 振 興	1 ・ 1 ・ 1	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		一次評価（担当課の評価）				
		B	B			
		二次評価（主管者会議の評価）				
		B	C			
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
		B	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができています。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)	赤潮の影響が大きいとはいえ、成果指標2項目が前年度から後退していることを踏まえ、「C」評価が妥当と判断した。	
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標 1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政 策 1	第1次産業の振興
施 策 ②	農業の振興

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	広尾産オリジナル製品の開発件数【累計】		目標値	件					1	1
				実績値	件	0	0				0
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	—		1	2	評 価		c	c			
	2	畜産バイオマス関連施設整備基数【累計】		目標値	基					1	1
				実績値	基	0	0				0
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
—		1	2	評 価		d	d				
成果 指標	1	生乳生産量【単年】		目標値	トン					63,000	63,000
				実績値	トン	65,865	65,475				0
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	104.5	103.9	0.0	0.0	0.0
	59,497		63,000	63,000	評 価		a	a			
	2	新規就農者数【単年】		目標値	戸					3	3
				実績値	戸	0	0				0
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1		3	5	評 価		c	c				
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1											
活－2											
成－1											
成－2											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	- a 目標達成に向け順調に進んでいる。 - b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 - c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 - d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 - e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>					
主な事業・取組	1. 第6次産業化（経営多角化）を支援する				R4(2022)年度実績額 0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度 実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	各関係機関と合意形成を行い、推進していく。【農政林務係】				

主な事業・取組	2. 酪農家の労働時間を短縮する取組を推進する			R4(2022)年度実績額	3,599千円
細事業名Ⅰ	農場派遣事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	令和4年度から地域おこし協力隊を雇用し、農場派遣事業により酪農家の労働時間短縮に努めた。				
進捗状況と課題	様々な理由から人手不足となった農場で酪農作業の補助を行った。町内酪農家からも好評であり、今後も新たな協力隊を任用して本事業の継続を図るとともに、本町で新規就農を希望する協力隊のサポートを行っていく。【農政林務係】				

主な事業・取組	3. 農村環境の維持に向けて家族経営を支援する			R4(2022)年度実績額	58,861千円
細事業名Ⅰ	中山間地域等直接支払交付金事業	実	1-1-②-15	担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	農業用明きょ草刈、不法投棄処理、農地維持管理、コントラクター組織利用促進、鳥獣被害対策、自衛防疫組織助成、新規就農者誘致取組、酪農ヘルパー利用促進など。				
進捗状況と課題	中山間地区の草地面積に対し1.5円/㎡を交付し、農村環境維持のための様々な対策を継続的に行う。【農政林務係】				

主な事業・取組	4. 多様な新規就農を支援する体制を構築する			R4(2022)年度実績額	8,045千円
細事業名Ⅰ	新規就農補助事業	実	1-1-②-17	担当課	農林課
細事業名Ⅱ	農業次世代人材投資補助事業	実	1-1-②-18	担当課	農林課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	・令和4年度の新規就農者0名 ・新規就農者に対し、就農時から5年間の初期投資の軽減を実施している。(最長5年間)				
進捗状況と課題	JAと連携し、多様な新規就農者を受け入れる体制を構築する。【農政林務係】				

主な事業・取組	5. 家畜ふん尿を資源として有効活用する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	広尾町バイオマス事業推進協議会等と情報共有等を行い、方向性を模索する。【農政林務係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 将来を担う農業者の確保を図る			R4(2022)年度実績額	12,254千円
細事業名Ⅰ	農活チャレンジ応援事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ	農林人材育成支援センター整備事業	実	1-1-②-39	担当課	農林課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	一次産業に関する宿泊型研修施設として屋根、外壁、内装、暖房設置などの整備と消防設備の修繕を行った。				
進捗状況と課題	酪農業に興味がある者が増えてきているが、新規就農に伴い必要となる農地の確保等が困難であり、農協とも連携を図り、就農までの一貫した支援体制を引き続き構築する。【農政林務係】				

主な事業・取組	2. 農業所得の安定的な拡大を図る			R4(2022)年度実績額	490千円
細事業名Ⅰ	農政推進協議会負担金事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	広尾町農政推進協議会による農業の振興、伝染病予防及び、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した乳製品消費拡大運動を実施した。				
進捗状況と課題	JAや関係機関と連携し、農業の振興や衛生対策、消費拡大運動等を実施して農業所得の拡大に努める。【農政林務係】				

主な事業・取組	3. 農業生産基盤の整備と強化を図る			R4(2022)年度実績額	21,547千円
細事業名Ⅰ	公社営草地畜産基盤整備事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	受益者 7件、草地整備 37.91ha、暗渠排水 7.71ha、草地造成 5.7ha				
進捗状況と課題	令和4年～7年度で実施。【農政林務係】				

主な事業・取組	4. 安心安全な農畜産物の生産と販売促進を図る			R4(2022)年度実績額	680千円
細事業名Ⅰ	乳質改善対策事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	乳質検査等に補助を行い、安全で安心な生乳を出荷した。 牛舎消毒事業 79戸、乳房炎撲滅プロジェクト 5戸、バルクスクリーニング検査 62戸				
進捗状況と課題	JAと連携し、安全安心な飼料づくりや生乳生産を促進する。【農政林務係】				

主な事業・取組	5. 家畜ふん尿の適正処理など、環境に配慮した持続可能な資源循環型農業を確立する			R4(2022)年度実績額	1,118千円
細事業名Ⅰ	茂寄団地圃場町有草地更新業務	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	ライムギを使用した環境配慮型の輪作による草地更新を令和4年から令和6年にかけて試験的に実施する。 令和4年度は除草、耕起、土壌改良資材の投入を行った。				
進捗状況と課題	令和5年度にライムギの播種、緑肥として鋤き込み、令和6年度に牧草を播種予定。【農政林務係】				

主な事業・取組	6. 有害鳥獣による農業被害の防止に向けて効果的な対策を講じる			R4(2022)年度実績額	10,730千円
細事業名Ⅰ	鳥獣被害防止対策事業負担金事業	実	1-1-②-16	担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	エゾシカやヒグマによる農業被害を防止するため、諸対策を実施した。				
進捗状況と課題	北海道猟友会広尾支部やJAと連携し、有効な鳥獣被害の防止対策を模索し推進していく。【農政林務係】				

主な事業・取組	7. 漁村の価値を再認識し、都市部の住民や次代を担う子どもたちにその魅力を伝えるため、子ども農山漁村ホームステイ事業を実施する			R4(2022)年度実績額		440千円
細事業名Ⅰ	子ども農山漁村ホームステイ事業	実	5-2-②-15	担当課	企画課	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度実施内容	新型コロナウイルス感染拡大により、受入事業は3年連続の中止となった。					
進捗状況と課題	新型コロナ感染症の影響により受入家庭の意向も確認し、子どもの受入は3年連続の事業中止となったが、オンラインを活用しての交流授業やハロウィンかぼちゃの送付などの交流事業を実施した。令和5年度は受入家庭の意向調査も行った上で事業の再開を決定し、8月に受入を行う予定。【企画防災係】					

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・継続事業を中心に各取組を着実に実行したが、新型コロナウイルス感染症や国際情勢の影響が生乳生産抑制や資材高騰という形で影響を及ぼすなど、施策の進捗に遅れが生じている。（農林課長） ・農山漁村ホームステイ事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で休止していたが、令和5年度から取組を再開する。（企画課長）	
	B 想定どおりに進んでいる			
農企	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	
	A 有効であった	評価理由	・厳しい情勢ではあったが粗生産額を維持することができ、農業施策は概ね有効であったと評価できる。（農林課長） ・農山漁村ホームステイ事業は、給食用食材提供事業以外は休止中のため有効とはいえない。（企画課長）	
農	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
企	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

農業の振興	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	C			

評価の区分	A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。 B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。 C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。 D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。 E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。
-------	---

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政 策	1	第1次産業の振興
施 策	③	林業の振興

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1 町民の森づくり事業への参加者数【単年】	目標値		人					20	20
		実績値		人	38	54				0
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	190.0	270.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		— 20 50	評 価		a	a				
	2 木材製材加工場の誘致	目標値		—					誘致実現	誘致実現
		実績値		—	—	—				0
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—	
		— 誘致実現 流通拡大	評 価		c	d				
	3 国有林を除く森林整備面積（間伐等）【単年】	目標値		ha					50	50
		実績値		ha	49.02	43				0
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	98.0	86.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50 50 50	評 価		b	c				
	4 伐採跡地を含む無立木地面積	目標値		ha					300	300
		実績値		ha	400	380				0
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	50.0	60.0				
		500 300 100	評 価		b	b				
成果 指標	1 国有林を除く森林整備率（間伐等）	目標値		%					45	45
		実績値		%	30	32				0
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	66.7	71.1	0.0	0.0	0.0	0.0
		25 45 70	評 価		b	b				
	2 伐採跡地を含む無立木地の解消率	目標値		%					30	30
		実績値		%	20	24				0
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	66.7	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20 30 40	評 価		c	b				
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1	木育フェスタ参加者数38名		木育フェスタ参加者数54名							
活－2										
活－3										
活－4										
成－1										
成－2										

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	---

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>

主な事業・取組	1. 木育事業「町民の森づくり」を実施する	R4(2022)年度実績額	3,139千円
細事業名Ⅰ	森林環境振興事業(木づかい推進事業)	実	1-1-③-23
細事業名Ⅱ		実	
細事業名Ⅲ		実	
R4(2022)年度実施内容	地域おこし協力隊が中心となり、ウッドイルミネーションの製作を通じた木育イベントを展開した。また、旧野塚小を活用した「集いの杜」プロジェクトの改修作業が本格的に始動した。		
進捗状況と課題	令和5年度も引き続き木育イベントを開催予定である。旧野塚小を開催場所とするなど、集いの杜の活用を図る。また、森林整備推進協議会と連携し枝打ちなどの育樹イベントの開催も検討する。【農政林務係】		

主な事業・取組	2. 木材加工製品(集成材)の生産と流通拡大を図る	R4(2022)年度実績額	34千円
細事業名Ⅰ		実	
細事業名Ⅱ		実	
細事業名Ⅲ		実	
R4(2022)年度実施内容	会社代表、コンサルが来町し、予定地現地視察などを実施して内容等を検討したが、進出予定だった会社の方針変更によって企業誘致は白紙となった。		
進捗状況と課題	令和3年度からの誘致活動は白紙となったものの、地域経済への大きな波及効果を期待できる誘致事業であるため、林野庁、北海道庁、北海道森林組合連合会との情報交換等連携を継続する。【農政林務係】		

<継続的事业>

主な事業・取組	1. 森林整備の推進を図る	R4(2022)年度実績額	53,562千円
細事業名Ⅰ	町有林管理事業	実	—
細事業名Ⅱ		実	
細事業名Ⅲ		実	
R4(2022)年度実施内容	町有林43haの間伐を実施。その他、森林環境譲与税を活用して森林整備、作業路網整備を補助した。		
進捗状況と課題	毎年、同程度の間伐を予定している。伐期が近づいている普通林の間伐を進めることで、効率的な皆伐につなげ安定的な原木供給を図る。【農政林務係】		

主な事業・取組	2. 無立木地の解消に努める	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	
細事業名Ⅱ		実	
細事業名Ⅲ		実	
R4(2022)年度実施内容	無立木地箇所のピックアップを行い、解消に向けての打合せを森林組合、振興局森林室と行った。		
進捗状況と課題	実際の現地確認を行い、造林適地かどうかの確認を行った上で、一般所有者については森林組合と連携し、森林経営計画の策定などを勧奨していく。【農政林務係】		

主な事業・取組	3. 保育施設などに木のおもちゃ(森の輪)を贈呈し、木育の推進を図る	R4(2022)年度実績額	30千円
細事業名Ⅰ	森林環境振興事業(森の輪配布事業)	実	1-1-③-23
細事業名Ⅱ		実	
細事業名Ⅲ		実	
R4(2022)年度実施内容	令和4年度は森の輪を23個配布した。また、冊子「森の輪物語2022」も発行され、事業の周知も図られた。		
進捗状況と課題	森の輪については順調に毎年配布している。今後は町産材ブランド化事業ともつながるような町独自の取組を検討したい。【農政林務係】		

主な事業・取組	4. 林業の担い手確保に向けて関係団体や各種学校と連携して取り組む	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 農林課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	森林組合では北の森づくり専門学院の生徒インターンの受け入れなどを実施。		
進捗状況と課題	町内林業事業体へ十勝地域林業担い手確保推進協議会等の取り組みへの積極的な参加を呼びかけるとともに、町内独自の取り組みを町森林整備協議会でも検討する。【農政林務係】		

主な事業・取組	5. 鳥獣被害による林業被害の防止に向けて効果的な対策を講じる	R4(2022)年度実績額	8,523千円
細事業名Ⅰ	鳥獣被害防止対策事業負担金事業	実	担当課 農林課
細事業名Ⅱ	野ねずみ駆除剤散布事業	実	担当課 農林課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	エゾシカやヒグマ、野ねずみによる林業被害を防止するため、諸対策を実施した。		
進捗状況と課題	北海道猟友会広尾支部やJAと連携し、有効な鳥獣被害の防止対策を模索し推進していく。【農政林務係】		

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	農林課長 及川
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	関係機関との連携により、各施策は想定どおりに進んでいると評価できる。	
○	B 想定どおりに進んでいる			
	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	農林課長 及川
○	A 有効であった	評価理由	森林整備事業や廃校再生プロジェクトの推進など多方面から木材産業の活性化を推進している。森林環境譲与税の使途についても林業事業体の意見を反映させながら事業を構築しており、一定の効果・評価を得ており施策は有効であったと評価できる。	
	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

林業の振興	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	B	B			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	B	B			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	B	B			

評価の区分	A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。 B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。 C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができています。 D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。 E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。
-------	--

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政 策	2	商工業・観光の振興
施 策	①	商工業の振興

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	新たな特産品として商品化 (ブランド化)した商品の種 類【累計】	目標値	種類						5	5	
			実績値	種類	0	0				0		
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	— 5 10			評 価		c	c					
	2	買い物支援サービスの構 築	目標値	—					着手済・施行中	着手済・施行中		
			実績値	—	未構築	1				0		
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	—	100.0	—	—	—		
— 着手済・施行中 構築済			評 価		c	b						
成果 指標	1	年間商品販売額(経済セン サス)【単年】	目標値	百万円	8,350				8,000	8,000		
			実績値	百万円	11,327					0		
			現状(H28) 中間(R3) 最終(R8)			達成率	%	141.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	8,348 8,350 8,000			評 価		a						
	2	年間製造品等出荷額(経済 センサス)【単年】	目標値	百万円	10,000				11,000	11,000		
			実績値	百万円	12,333					0		
			現状(H28) 中間(R3) 最終(R8)			達成率	%	112.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	9,228 10,000 11,000			評 価		a						
	3	サンクラブカードの町民 保有率	目標値	%					60	60		
			実績値	%	57.9	65.8				0		
			現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	96.5	109.7	0.0	0.0	0.0
			51.3 60 70			評 価		b	a			
	4	個人版ふるさと納税寄附額 【単年】	目標値	百万円					150	150		
			実績値	百万円	128	93				0		
現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	85.3	62.0	0.0	0.0	0.0			
97 150 200			評 価		b	c						
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活一1		PJチーム設立に向けた協 力隊配置及び予算措置準 備		PJチーム設立し、会議の 開催、原案の検討・作成を 実施								
活一2		高齢者外出支援交通費助 成事業の試験実施		高齢者外出支援交通費助 成事業を本稼働								
成一1		R4年に数値確定		R3の確定値								
成一2		R4年に数値確定		R3の確定値								
成一3		町民保有者3,617人／人口6,250人		町民保有者 4,185人／人口6,359人								
成一4		7,475件、128,629千円		5,284件、93,496千円								

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>

主な事業・取組	1. 担い手(経営者、従業員)の育成・確保に努める	R4(2022)年度実績額		18,231千円
細事業名Ⅰ	商工振興補助事業	実	1-2-①-25	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ	起業家育成支援事業	実	1-2-③-29	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)商工会で行う経営改善普及事業などに対して補助金を交付し、地元事業所の安定雇用や担い手育成を行っている。 (Ⅱ)飲食店1件の新規創業に対し、補助金交付による支援を行った。			
進捗状況と課題	(Ⅰ)商工会による経営改善普及事業などへの支援は継続的に取り組む。また令和4年度から広尾版ハローワーク事業により町内外へ求人情報等を発信した。【商工観光係】 (Ⅱ)令和4年度は1件の起業があったが、原材料等の高騰により飲食業の起業に影響を及ぼす可能性があり、今後企業の動きが鈍くなることを懸念している。【商工観光係】			

主な事業・取組	2. 集客に向けた情報発信を強化する	R4(2022)年度実績額		17,231千円
細事業名Ⅰ	商工振興補助事業	実	1-2-①-25	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	商工会で行う地域振興事業に対して補助金を交付し、地元から情報発信などを行っている。			
進捗状況と課題	商工会による地域振興事業への支援は継続的に取り組む。広尾版ハローワーク事業を実施し、町内事業者の仕事内容や店舗情報を発信した。【商工観光係】			

主な事業・取組	3. サービスや商品の特色や魅力を高める	R4(2022)年度実績額		17,231千円
細事業名Ⅰ	商工振興補助事業	実	1-2-①-25	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	商工会で行う地域振興事業に対して補助金を交付し、事業所に対する商品開発やサービス向上の指導を行っている。			
進捗状況と課題	商工会による地域振興事業への支援は継続的に取り組む。また「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクトにより各業界が連携した特産品づくりなどに取り組んでいく。【商工観光係】			

主な事業・取組	4. 買い物便利事業(買い物支援サービス)の実施を検討する	R4(2022)年度実績額		18,960千円
細事業名Ⅰ	商工振興補助事業	実	1-2-①-25	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ	高齢者外出支援交通費助成事業	実	—	担当課 保健福祉課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)商工会で行う地域振興事業に対して補助金を交付し、買い物の利便性を高める取組を行っている。 (Ⅱ)令和5年度本格事業実施に向け、3か月間の実証事業を実施。75歳以上の方を対象に申請者に対し、バス・タクシーで利用できる助成券を配布。また利用者、未利用者に対しアンケート調査を実施。			
進捗状況と課題	(Ⅰ)買い物弱者への支援は商工業や経済的観点からも必要と思われ、町から商工会への財政的支援は継続的に行っていく。【商工観光係】 (Ⅱ)令和4年度は運転免許所持の要件を撤廃し、75歳以上の高齢者を対象に3か月間実証事業を実施した結果、事業として有効と判断したため、令和5年度から通年で本格実施する。【福祉係】			

<継続的事业>					
主な事業・取組	1.「サンタクラブカード」の利用促進を図る			R4(2022)年度実績額	17,231千円
細事業名Ⅰ	商工振興事業	実	1-2-①-24	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	商工会に対し経営改善普及事業職員設置の観点から補助金を交付し、サンタクラブカードの利用促進を継続的に行っている。				
進捗状況と課題	サンタクラブカードの加盟店に加え、キャッシュレス決済の導入を促し、町内消費の活性化を図っていく。【商工観光係】				

主な事業・取組	2. 各事業所の経営の改善・安定化に努める			R4(2022)年度実績額	72,176千円
細事業名Ⅰ	商工振興事業	実	1-2-①-24	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	地域振興プレミアム付商品券発行事業	実		担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅲ	中小企業等キャッシュレス化導入支援事業	実		担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅳ	原材料等価格高騰対策中小企業緊急支援事業	実		担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅴ	原油価格高騰対策運送事業者緊急支援事業	実		担当課	水産商工観光課
R4(2022)年度実施内容	新型コロナウイルス感染症に加え、原材料等の価格高騰に伴う経営への影響に鑑み、国の地方創生臨時交付金を活用した各種支援事業を実施し、町内事業所の安定経営を図った。				
進捗状況と課題	新型コロナウイルス感染症収束まで国の交付金を活用した助成事業を継続して行っていく。【商工観光係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	水産商工観光課長 室谷
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	令和4年度から各種事業が本格始動し、概ね想定どおり進んでいる。		
○	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	水産商工観光課長 室谷
	A 有効であった	評価理由	施策は概ね有効であったが、漁業不振などの理由によりふるさと納税寄附額が減少した。		
○	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

商 工 業 の 振 興	1 ・ 2 ・ 1	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		一次評価（担当課の評価）				
		C	B			
		二次評価（主管者会議の評価）				
		C	B			
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
		C	B			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政 策	2	商工業・観光の振興
施 策	②	観光・サンタランドの振興

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	観光協会ウェブサイトの構築	目標値	—						構築済	構築済	
			実績値	—	構築済	構築済				0		
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—		
	—		構築済	構築済	評 価		a	a				
	2	サンタランドを盛り上げる新たな民間団体の設立	目標値	—						設立済	設立済	
			実績値	—	0	0				0		
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—		
	—		設立済	設立済	評 価		c	c				
	3	体験型観光プログラムの数【累計】	目標値	—						15	15	
			実績値	—	10	35				0		
現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	66.7	233.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
7		15	20	評 価		b	a					
成果 指標	1	サンタメール申込み通数【単年】	目標値	通						17,000	17,000	
			実績値	通	23,392	18,174				0		
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	137.6	106.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	15,326		17,000	20,000	評 価		a	a				
	2	サンタクロース展応募点数【単年】	目標値	点	R2事業終了のため、評価の対象外とする							
			実績値	点								
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%						
	30		40	50	評 価							
	3	大丸山森林公園への年間来場者数【単年】	目標値	人							30,000	30,000
			実績値	人	17,198	31,974				0		
現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	57.3	106.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
26,179		30,000	30,000	評 価		c	a					
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活－1		R2年9月30日開設										
活－2												
活－3		ピロツーツリズム推進協議会実績		地域おこし協力隊によるプログラム造成実績								
成－1		6,644件、23,392通		5,209件、18,174通								
成－2		R2事業終了		R2事業終了								
成－3		新型コロナの影響による減少		R3年10月リニューアルによる増加								

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>

主な事業・取組	1. 情報発信力を強化する	R4(2022)年度実績額		20,518千円
細事業名Ⅰ	観光情報発信・観光町おこし事業	実	1-2-②-26	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ	観光振興事業	実	1-2-②-27	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	観光協会ホームページ及びサンタランドホームページによる各種PR。またSNSによるPRを実施した。また、各種イベントや観光案内所でのPR。さらに日高3町との連携事業により町外向けの情報発信を行った。			
進捗状況と課題	各種イベントの復活により観光協会SNSフォロワーキャンペーンを実施しなかったことでフォロワーが減少した。【商工観光係】			

主な事業・取組	2. 体験型観光を充実させる	R4(2022)年度実績額		5,468千円
細事業名Ⅰ	体験型観光推進事業	実	1-2-②-27	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	地域おこし協力隊とピロロツーリズム推進協議会が連携し、体験型観光を軸にしたツアーなどを協力隊の活動として行った。【商工観光係】			
進捗状況と課題	北海道観光振興機構の補助金を活用しながら、町観光協会としても体験型観光を推進していく。【商工観光係】			

主な事業・取組	3. サンタランドを盛り上げる民間団体を育成する	R4(2022)年度実績額		0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	新規団体の結成なし			
進捗状況と課題	「サンタランド」の魅力向上プロジェクトを進める過程で団体の設立を検討していく。【サンタランド係】			

<継続的事业>

主な事業・取組	1. 毛がにまつりなど、特産品をメインとした食のイベントを開催する	R4(2022)年度実績額		2,024千円
細事業名Ⅰ	第53回広尾毛がにまつり(観光振興事業)	実	1-2-②-27	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ	観光情報発信・観光町おこし事業	実	1-2-②-26	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	ひろお毛がにまつりは毛がにの確保が困難だったことから「広尾まんぷくまつり」として実施した。			
進捗状況と課題	コロナ禍での実施だったが、目玉となる毛がにが用意できず来場者は3千人であった。次年度も毛がにまつりとしての実施を目指す。【商工観光係】			

主な事業・取組	2. 十勝港海上花火大会など、町外からの大勢の集客を見込むことができるイベントを開催する	R4(2022)年度実績額		11,259千円
細事業名Ⅰ	第66回十勝港まつり	実	1-2-②-27	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	コロナ禍の影響で、時間短縮及び内容の簡素化を実施しながらの開催となった。			
進捗状況と課題	縮小開催ではあったが1万人の来場があり概ね好評だった。次回は通常開催を目指す。【商工観光係】			

主な事業・取組	3. 十勝シーニックバイウェイ南十勝夢街道を通じた情報発信に力を入れる			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	大丸山森林公園サンタの家においてシーニックバイウェイを活用した情報発信を行っている。				
進捗状況と課題	大丸山森林公園におけるシーニックゾーンの発信のほか、冊子「シーニックバイウェイ北海道」へのサンタカードPR広告を掲載し、広尾サンタランドの認知度を広めていく。【商工観光係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	水産商工観光課長
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	新型コロナウイルス対策が緩和され、各種イベントが実施できた事や地域おこし協力隊による体験型観光の推進が動き出したといえる。	
○	B 想定どおりに進んでいる			
	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	水産商工観光課長
	A 有効であった	評価理由	新型コロナウイルス対策が徐々に緩和され、個人消費の傾向が外出やレジャーに流れたことからサンタカードの申込み件数が減少したが、大丸山森林公園の来場者が増加し、体験型観光参加者や各種イベントも来場者数は概ね良好だった。	
○	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

観光 の サ ン タ カ ー ド の 振 興 タ ラ ン	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	B			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	B			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	B			

評価の区分	A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。 B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。 C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。 D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。 E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。
-------	---

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標 1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政 策 2	商工業・観光の振興
施 策 ③	企業誘致・起業支援

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	空き地・空き店舗・空き家等 情報データベースの構築		目標値	—					着手済	着手済
				実績値	—	未着手	未着手				0
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	—	—	—	—	—		
	—	着手済	構築済	評 価		c	c				
成果 指標	1	進出企業数【累計】		目標値	件					1	1
				実績値	件	0	0				0
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	—	1	2	評 価		c	c				
	2	新規起業件数【単年】		目標値	件					3	3
				実績値	件	1	2				0
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
—	3	3	評 価		c	b					
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1											
成－1											
成－2		木工所1件		飲食業1件、林業1件							

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	---

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>					
主な事業・取組	1. 空き地や空き店舗、空き家などの情報データベースを構築する				R4(2022)年度実績額 0千円
細事業名Ⅰ	空き家バンク事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度 実施内容	平成28年度から制度を開始しているが、令和4年度末で掲載物件は1件のみという状況にある。固定資産税納付書発送の際に制度の紹介チラシを同封し、PRを図っている。				
進捗状況と課題	チラシ発送後は問い合わせも多くあるが、実際に登録まで結びつかない状況にある。登録のための書類作成が煩雑との声もあり、登録の簡素化等も検討していく必要がある。【企画防災係】				

主な事業・取組	2. 地域に根付く新しい事業、稼げる事業を創出する			R4(2022)年度実績額	1,000千円
細事業名Ⅰ	起業家育成支援事業	実	1-2-③-29	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	飲食店の新規創業に対し、補助金交付による支援を行った。				
進捗状況と課題	令和4年度は1件の起業があったが、新型コロナウイルス感染症や原材料価格高騰が飲食業の起業に影響を及ぼす可能性があり、今後、起業の動きが鈍くなることを懸念している。【商工観光係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 企業誘致に関する積極的なPR活動を展開する			R4(2022)年度実績額	1千円
細事業名Ⅰ	企業等誘致促進期成会補助事業	実	1-2-③-30	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	帯広・広尾自動車道「豊似～広尾間」の早期全線完成、十勝港の整備と利活用の促進及びメタンハイドレート海洋産出海域への選定に係る中央要請活動を行った。				
進捗状況と課題	今後も期成会の事業計画に掲げている企業誘致等に係るインフラ等の整備要請、メタンハイドレート海洋産出海域への選定にかかる活動を実施していく。【企画防災係】				

主な事業・取組	2. 広尾町企業振興促進条例などによる優遇措置(助成及び減免)を継続する			R4(2022)年度実績額	6,500千円
細事業名Ⅰ	企業振興促進補助事業	実	1-1-①-12	担当課	水産商工観光課水産係
細事業名Ⅱ	企業振興促進補助事業	実	1-2-⑤-37	担当課	港湾課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)水産物冷凍工場を新設した池下産業(株)に対し、固定資産税、都市計画税に相当する額の補助を行った。 (Ⅱ)補助金の交付による港湾関連事業者への2件の支援を行い事業拡大を促すことで、町内経済への波及効果を図った。				
進捗状況と課題	(Ⅰ)平成30年度から補助しており、令和4年度が補助期間の最終年度となる。【水産係】 (Ⅱ)企業支援により十勝港内での事業に関する促進効果は一定程度感じられるが、町内全体に経済効果が波及していると一概には言い難い部分がある。効果の作用する範囲の検証が困難である。【振興係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	- 空き家情報のデータベース構築は進んでいない。企業誘致等は引き続き中央要望及び道への要望を行っていく。（企画課長） - 企業振興促進条例の対象となる施設に補助金を交付し、町内経済の振興を図ることができた。（水産商工観光課長） - 港湾関連事業者に2件の支援を行ったことで、一定程度の振興効果を達成することができた。（港湾課長補佐）		
商港	B 想定どおりに進んでいる				
企	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
	A 有効であった	評価理由	- 空き家情報は成果が見られない。企業等の誘致は高規格道路の広尾までの事業化を足掛かりに今後積極的に進めていく必要がある。（企画課長） - 事業の性質上、成果が見えづらいが、企業の事業拡大に有効であったと考える。（水産商工観光課長） - 企業支援により港湾施設の利活用を促進することで、一定程度、有効な成果をあげることができた。（港湾課長補佐）		
商港	B 概ね有効であった				
企	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

起 業 支 援	企 業 誘 致 ・ 1 ・ 2 ・ 3	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		一次評価（担当課の評価）				
		C	C			
		二次評価（主管者会議の評価）				
		C	C			
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
		C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政 策	2	商工業・観光の振興
施 策	④	雇用・労働者対策の推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況			
活動 指標	1	多様な人材(高齢者、障がい者、外国人など)を労働者として受け入れる体制の整備		目標値	—					整備済	整備済			
				実績値	—	未整備	未整備			0				
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—				
	—		整備済	整備済	評 価		c	c						
成果 指標	1	労働を伴う短期滞在者数【単年】		目標値	人					3	3			
				実績値	人	6	5				0			
				現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	200.0	166.7	0.0	0.0	0.0
				—		3	5	評 価		a	a			
	2	起業家等支援事業を通じた企業による新規雇用者数【累計】		目標値	人					40	40			
				実績値	人	15	15				0			
				現状(H27～30)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0
				13		40	65	評 価		b	c			
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)				
活－1														
成－1		体験住宅1人、ワーホリ5人		ワーホリ5人										
成－2		R2居酒屋1人、R3木工1人雇用												

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>					
主な事業・取組	1. 町外の人材や高齢者などを労働者として受け入れる取組を実施する			R4(2022)年度実績額	4,424千円
細事業名Ⅰ	雇用・労働対策事業	実	1-2-④-31	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	高齢者勤労事業部運営事業	実	2-1-①-17	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度 実施内容	(Ⅰ)令和4年度から、広尾版ハローワーク事業として水産、酪農、商工業などの求人情報を一つにまとめたチラシの作成、求人サイトの開設などの「求人情報の一元化事業」を地域おこし協力隊が主体となり実施した。 (Ⅱ)高齢者の豊かな経験と技術を生かした就労の場の確保と、就労を通じた生きがいの充実を目的とした高齢者勤労事業部の運営に対し、補助金による支援を行った。				
進捗状況と課題	(Ⅰ)広尾版ハローワークの継続により地域の雇用を確保していく。【商工観光係】 (Ⅱ)高齢者勤労事業部の登録者数は、防災無線等で周知しているが、登録者数は伸び悩んでいる。対象者に対し周知のダイレクトメールを送付し、一定の効果があった。【福祉係】				

主な事業・取組	2. 移住体験などと組み合わせた短期労働体験事業を実施する			R4(2022)年度実績額	420千円
細事業名Ⅰ	広尾町活き生きプロジェクト交付金	実	5-2-②-17	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	広尾町活き生きプロジェクトの事業として「ふるさとワーキングホリデー」を7月から11月末まで実施し、道外の若者5人が広尾町で就業・生活しながら地域住民との交流を深めた。				
進捗状況と課題	令和5年度もふるさとワーホリ受入を継続し、広尾町での就業・生活、地域住民との交流を通して、「また来たい」と思ってもらうことで、関係人口の増加を図る。事業継続のため、受入事業所や体験事業など魅力あるプログラムの構築が課題である。また、移住体験住宅の今後の運営方針についても検討が必要な時期に来ている。【企画防災係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	
商企 福	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・求人情報の一元化などにより、地元の雇用に資する取組が実施できた。（水産商工観光課長） ・「ふるさとワーキングホリデー」事業により、大学生などの若者に労働を含めた体験事業を提供することができた。（企画課長） ・高齢者勤労事業部の周知を目的に対象者にダイレクトメールを送り、一定の効果があつた。事業としては高齢者の豊かな経験と技術を生かした就労の場の確保につながっている。（保健福祉課長）	
	B 想定どおりに進んでいる			
	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	
商企 福	A 有効であった	評価理由	・求人情報の一元化などの広尾版ハローワーク事業により、雇用の実績増加につながった。（水産商工観光課長） ・「ふるさとワーキングホリデー」の参加者にまちの特色や魅力を大いにアピールすることで、将来の労働力確保に向けた種をまくことができた。（企画課長） ・高齢者勤労事業部の登録者数は近年減少傾向であるので、登録者を増やす工夫をする必要がある。（保健福祉課長）	
	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

雇用・労働者の 対策の推進者	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	C			

評価の区分	A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。 B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。 C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。 D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。 E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。
-------	---

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政 策	2	商工業・観光の振興
施 策	⑤	十勝港の整備と利活用の推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	定期航路の開設数【累計】		目標値	—					1	1
				実績値	—	0	0			0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	—	1	1	評 価		c	c				
	2	地元企業による事業場の増設数【累計】		目標値	棟					2	2
				実績値	棟	0	0			0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
—	2	4	評 価		c	c					
成果 指標	1	貨物取扱量【単年】		目標値	万トン					155	155
				実績値	万トン	149.9	155.7			0	
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	96.7	100.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	145	155	155	評 価		b	a				
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1											
活－2											
成－1											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	- a 目標達成に向け順調に進んでいる。 - b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 - c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 - d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 - e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞						
主な事業・取組	1. 定期航路の開設に向けた取組を推進する			R4(2022)年度実績額		4,879千円
細事業名Ⅰ	企業振興促進補助事業	実	1-2-⑤-37	担当課	港湾課	
細事業名Ⅱ	十勝港港湾振興会補助事業	実	1-2-⑤-32	担当課	港湾課	
細事業名Ⅲ	十勝港物流調査事業	実	1-2-⑤-40	担当課	港湾課	
R4(2022)年度 実施内容	(Ⅰ)対象施設に係る固定資産税及び都市計画税の合計額に相当する額に対し、補助金交付による支援を行った。 (Ⅱ)港湾利用促進事業を担う十勝港港湾振興会に対し、補助金交付による支援を行った。 (Ⅲ)十勝を中心とする貨物流動等の将来性調査及び事業実施可能性調査を行い、今後の港湾振興に向けた基礎資料の作成を行った。					
進捗状況と課題	新型コロナウイルス感染症により、一部、港湾利用促進事業が中止となったが、今後も同事業を通じて十勝港の利活用と振興に努める。令和4年度に実施した「十勝港物流調査事業」を令和5年度にも引き続き実施する予定である。【振興係】					

主な事業・取組	2. 港湾内輸送の自動運転技術の導入を検討する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	輸送トラック自動運転技術導入事業	実	-	担当課	港湾課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	港内における飼料原料の施設間輸送に、トラックの自動運転技術導入を目指すべく複数の関係企業や自動車メーカー1社と協議を重ねてきたが、技術的・資金的な理由により即刻の実証実験の実施は困難な状況である。今後は協力先自動車メーカーの対象範囲を複数社に拡大することも視野に、引き続き協議を継続していく予定である。【管理係】				

主な事業・取組	3. 緑地を町民に親しみのある空間(親水空間)として活用するなど、海洋レクリエーション施設としての周知を図る			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	レクリエーション機能向上事業	実	-	担当課	港湾課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	オンシーズンは主に釣り人がフィッシングを楽しむほか、親水緑地に隣接する楽古海岸では町外からも親子連れが海辺遊びに訪れているため、レクリエーションゾーンとして一定の機能は果たしているが、釣り人同士が場所取り等でもめている事案が複数件報告されており、親しみを持てる空間づくりというコンセプトからはやや乖離が見られる。【管理係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 港湾の整備(航路、泊地の浚渫、物揚場など)を進める			R4(2022)年度実績額	263,647千円
細事業名Ⅰ	本港地区整備事業	実	1-2-⑤-33	担当課	港湾課
細事業名Ⅱ	内港地区整備事業	実	1-2-⑤-34	担当課	港湾課
細事業名Ⅲ	外港地区整備事業	実	1-2-⑤-35	担当課	港湾課
細事業名Ⅳ	十勝港港湾施設改修事業	実	1-2-⑤-36	担当課	港湾課
R4(2022)年度実施内容	本港地区航路(-13m、-14m)及び外港地区泊地(-2m)において起重機船による浚渫工事を行い、大型船舶及び地元漁船の安全かつ効率的な航行の確保を図った。また、損傷のあった防舷材を改修し、船舶に対して安全な係留施設の提供に努めた。				
進捗状況と課題	国からの負担金を活用し毎年のように浚渫工事を行うことで水深確保に努めているが、当該エリアは漂砂により堆積傾向が続いており、根本的な解決にはつながっていない実情がある。直轄事業として当事業を継続するためには、漂砂傾向を改善する何らかの対策を講じる必要がある。また防舷材についても、安定的に改修を実施できるよう、国の交付金など、予算財源の確保に努める必要がある。【管理係】				

主な事業・取組	2. 客船・官庁船の積極的な入港を要請する			R4(2022)年度実績額	113千円
細事業名Ⅰ	十勝港港湾振興会補助金	実	1-2-⑤-32	担当課	港湾課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	令和4年度はコロナ禍ということもあり、クルーズ船の寄港依頼がなかった。(令和3年度は入港お断り) また、乗船者の中に陽性者が発生した場合の対応における帯広保健所との協議が不調に終わった。令和5年度以降については規制等廃止されることもあり、入港の打診があった場合には、積極的な受け入れに努める。【振興係】				

主な事業・取組	3. 地元港湾関連事業者による事業拡大を促進し、町内経済の活性化を図る			R4(2022)年度実績額	2,610千円
細事業名Ⅰ	企業振興促進補助事業	実	1-2-⑤-37	担当課	港湾課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	補助金の交付による港湾関連事業者への支援を行い事業拡大を促すことで、町内経済への波及効果を図った。				
進捗状況と課題	企業支援により十勝港内での事業に関する促進効果は一定程度感じられるが、町内全体に経済効果が波及していると一概には言い難い部分がある。目に見える効果を実績として表しづらい事業でもあるため、効果の検証方法についても何らかの設定が必要である。【振興係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	港湾課長補佐 須田
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	令和4年度は物流調査（3年計画の2年目）を実施し、今後の定期航路開設に向けた下準備を進めた。そのほか、航路・泊地の浚渫工事を行い、船舶・漁船の安全確保に努めた。クルーズ船の誘致については、コロナ禍により実績が無かった。	
○	B 想定どおりに進んでいる			
	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	港湾課長補佐 須田
	A 有効であった	評価理由	定期航路開設に向けては、帯広広尾自動車道（豊似～広尾間）の新規事業化や、川西ICの工業団地構想が追い風となり、関係機関等と意見交換を交わす場面が増え、連携を深め情報共有を図ることができた。また、航路・泊地の浚渫工事の実施により、安定した貨物等取扱実績を残すこともできた。クルーズ船の誘致については関係機関と連携を図りながら誘致に努めたい。	
○	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

十勝港の整備と利活用の推進	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	C			

評価の区分	A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。 B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。 C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。 D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。 E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。
-------	---

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		